

平成28年度第3回小牧市地域公共交通会議議事録

1 開催日時 平成28年11月9日(水)午前10時00分から

2 開催場所 小牧市役所本庁舎404会議室

3 出席者

(1) 小牧市地域公共交通会議委員

名古屋鉄道(株) 西部支配人	水野 泰
名鉄バス(株) 取締役	近藤 博之
あおい交通(株) 代表取締役	松浦 秀則
小牧タクシー(株) 代表取締役	兼松 雅春
公益社団法人愛知県バス協会 専務理事	古田 寛
愛知県タクシー協会 副会長	河村 富貴
愛知県交通運輸産業労働組合協議会 幹事	伊藤 匠二
小牧市区長会 連合会長	
公共交通利用促進協議会 会長	小柳 松夫
小牧市区長会 連合副会長	横井 徳明
小牧市老人クラブ連合会 副会長	平手 満治
小牧市女性の会 副会長	酒井 美代子
生涯学習ボランティア・こまき 代表	森 勝昭
中部大学工学部都市建設工学科 教授	磯部 友彦
中部運輸局愛知運輸支局 首席運輸企画専門官	杉本 忠久
愛知県 振興部 交通対策課主幹	桑原 良隆 (塚崎有里代理)
愛知県小牧警察署 交通課長	松本 光司
犬山市 市民部 地域安全課長	田中 豊明
豊山町 産業建設部 地域振興課長	堀尾 政美
小牧市 健康福祉部長	舟橋 毅
小牧市 都市建設部長 (建設担当)	平岡 健一
小牧市 都市建設部長 (都市整備担当)	渡辺 学

(2) 事務局

小牧市 都市建設部次長 (都市整備担当)	牧野 治
小牧市 都市建設部 都市政策課主幹	河村 昌二
小牧市 都市建設部 都市政策課交通政策係長	松浦 善行
小牧市 都市建設部 都市政策課交通政策係主査	金子 清一郎

小牧市 都市建設部 都市政策課交通政策係主事補	上 條 稔 貴
小牧市 都市建設部 都市政策課計画係長	大 澤 正 人
株式会社国際開発コンサルタント名古屋支店	牧 田 博 之
株式会社国際開発コンサルタント名古屋支店	小 林 良 治
株式会社国際開発コンサルタント名古屋支店	加 藤 洋 司
株式会社中部速記センター	原 口 千 秋

(3) 傍聴者

3名

4 議題

(1) 小牧市地域公共交通網形成計画策定状況について

- ・地域特性と公共交通の現状整理について
- ・公共交通ネットワーク評価に関する全国事例の収集・分析について

(2) 小牧市地域公共交通網形成計画策定に係る各種アンケート等の実施結果（速報版）について

(3) 小牧市地域公共交通網形成計画策定に係る公共交通地域懇談会の実施について

(4) 小牧市地域公共交通網形成計画策定に係る課題整理について（中間報告）

(5) 田県神社前駅西駅前広場整備に伴うこまき巡回バスのルート変更について

5 報告

(1) 市道野口林池之内線の道路工事に伴うこまき巡回バスの迂回運行について

6 会議資料

- | | |
|--------|-------------------------------------|
| 資料 1-1 | 地域特性と公共交通の現状整理 概要 |
| 資料 1-2 | 地域特性と公共交通の現状整理 |
| 資料 2-1 | 公共交通ネットワーク評価に関する全国事例の収集・分析 概要 |
| 資料 2-2 | 公共交通ネットワーク評価に関する全国事例の収集・分析 |
| 資料 3-1 | 小牧市地域公共交通網形成計画策定に係る各種アンケート等の実施結果 概要 |
| 資料 3-2 | 小牧市地域公共交通網形成計画策定に係る各種アンケート等の実施結果 |
| 資料 4 | 小牧市地域公共交通網形成計画策定に係る公共交通地域懇談会の実施について |
| 資料 5 | 小牧市における地域公共交通の課題（中間報告） |
| 資料 6 | 田県神社前駅西駅前広場整備に伴うこまき巡回バスのルート変更について |
| 資料 7 | 市道野口林池之内線の道路工事に伴うこまき巡回バスの迂回運行について |

7 議事内容

【事務局】（金子主査）

定刻になりましたので、会議を始めさせていただきます。

本日は、お忙しい中、ご出席を賜りまして誠にありがとうございます。ただいまから平成28年度第3回小牧市地域公共交通会議を開催させていただきます。

まず初めに、お願いしたいことがあります。

本日、議事録を速やかに作成するために速記を入れさせていただいております。お手元の机の近くにマイク等が置いてあるかと思いますが、ご了承いただきますようによろしくお願いいたします。

会議の開催に先立ちまして、事務局を代表しまして都市建設部都市整備担当次長の牧野よりご挨拶を申し上げます。

【事務局】（牧野次長）

改めまして、皆さん、おはようございます。

本日は、ご多忙の折、ご出席をいただきまして誠にありがとうございます。

さて、今年度から2箇年をかけて、地域にとって望ましい公共交通網の姿を明らかにするマスタープランとして、小牧市地域公共交通網形成計画の策定を進めているところでございます。

本日は、この計画の策定状況、各種調査の実施結果、今後実施する公共交通地域懇談会の実施などに関しご協議をいただく予定をしております。また、来年3月に田県神社前駅西駅前広場が整備されることに伴いまして、こまき巡回バスのルート変更についてもご協議いただきたいと思いますと考えております。

本日の会議は議題が多く、長時間にわたる審議となることが予想されますが、当計画の方向性を決める上で大変重要な会議であると考えておりますので、委員の皆様にはよろしくお願いいたします。簡単ではございますが、挨拶にかえさせていただきます。

本日はよろしくお願いいたします。

【事務局】（金子主査）

ありがとうございました。

なお、本日の出席委員は21名であります。従いまして、委員総数22名の過半数に達しておりますので、小牧市地域公共交通会議設置要綱第6条第2項の規定により本会議は成立しておりますことをご報告いたします。

それでは、本日の会議資料の確認をさせていただきます。

まず、本日の次第、資料1-1としまして、A3になりますが「地域特性と公共交通の現状整理概要」、資料1-2としまして「地域特性と公共交通の現状整理」、資料2-1としまして、A3になりますが「公共交通ネットワーク評価に関する全国事例の収集・分析 概要」、資料2-2としまして「公共交通ネットワーク評価に関する全国事例の収集・分析」、資料3-1としまして、こちらもA3になりますが「小牧市地域公共交通網形成計画策定に係る各種アンケート等の実施結果概要」、資料3-2としまして「小牧市地域公共交通網形成計画策定に係る各種アンケート等の実施結果」でございます。資料4としまして「小牧市地域公共交通網形成計画策定に係る公共交通地域懇談会の実施について」、資料5としまして「小牧市地域公共交通網形成計画策定に係る課題整理について（中間報告）」でございます。資料6としまして「田県神社前駅西駅前広場整備に伴うこまき巡回バスのルート変更について」、資料7としまして「市道野口林池之内線の道路工事に伴うこまき巡回バスの迂回運行について」、参考資料としまして、「小牧市地域公共交通会議委員名簿」でございます。

これらの資料につきましては事前に委員の皆様方にお渡しさせていただいておりますが、本日資料をお持ちでない方や資料の不足、乱丁等ございましたら、事務局までお知らせください。

よろしいでしょうか。

ご確認ありがとうございます。

続きまして、前回の会議以降におきまして委員の交代がございましたので、お名前を読み上げ、ご紹介にかえさせていただきます。

愛知県交通運輸産業労働組合協議会幹事であります伊藤匠二様でございます。委員交代後の名簿につきましては、参考資料「小牧市地域公共交通会議委員名簿」をご確認ください。

本日は、愛知県振興部交通対策課主幹の桑原委員にかわりまして、同交通対策課の主事でありま
す塚崎様にご出席いただいておりますので、ご紹介させていただきます。

それでは、会議を始めるに当たりまして、磯部会長よりご挨拶をいただきます。磯部会長、よろ
しく願います。

【磯部会長】

皆様、改めまして、おはようございます。

少し寒くなってなかなか出足が、お出かけしにくくなるかなと思いますけれども。

ちょっとご挨拶させていただきたいのは、実は学生の教育でこういう地域公共交通会議の状況を調査させるというのはちょうどいいテーマなので、私の知らない町をいろいろと調査させたりしているんですけども、ホームページだけではなかなかわからない町もございまして、資料は挙がっているんだけど、どんな議論がなされているのかが見えないとかそんなのもございました。

この地域公共交通会議は、この会議の中だけで閉じているわけではございませんで、それは広く市民にも情報が伝わって、いい悪いというのも市民の側からもいろいろと声を出していただきたいということでもありますから、やっぱり情報開示は大事だなと。そういう意味では、小牧市は割とやっているほうなので、この会議のメンバー以外の方もいろいろとひそかに勉強している人がいるんじゃないかなと、思っているところでございます。

そういう意味ではこの会議も、いろんなご発言をいただきまして、それをしっかりと議事録に残していただいて、いろんな人の判断をまた求めたいと思っておりますので、よろしく願います。

【事務局】（金子主査）

磯部会長、ありがとうございます。

続きまして、次第の2. 議題であります。今後の議事の進行につきましては磯部会長にお願いしたいと思います。磯部会長、よろしく願います。

【磯部会長】

初めに、本会議は公開が原則となっております。本日は3名の方から会議傍聴の申し出がございました。これを承認いたしましたので、ご報告申し上げます。

それでは、議事を進行してまいります。

まず、議題「(1) 小牧市地域公共交通網形成計画策定状況について」、「地域特性と公共交通の現状について」、「公共交通ネットワーク評価に関する全国事例の収集・分析について」であります。

現在策定を進めております小牧市地域公共交通網形成計画のうち、上位・関連計画の整理や総合

交通計画に掲げる施策の進捗状況、過去に実施した各種調査の結果、市内公共交通網の現状についてを「地域特性と公共交通の現状整理」として、また利用状況や環境の変化等によるサービス水準の変更にかかわる具体的な方針や指標を定める上での研究内容を「公共交通ネットワーク評価に関する全国事例の収集・分析」としてまとめたものであります。

まずは、この件につきまして事務局より説明をお願いいたします。

【事務局】（松浦係長）

議題の説明に先立ちまして、本日の議題の説明方法についてご説明させていただきます。

前回の会議におきましてご報告させていただきましたとおり、小牧市地域公共交通網形成計画の策定に当たりましては、これを支援する業務を委託しているところでございます。

従いまして、当該委託の仕様書により、本日の会議におきましても受託者であります株式会社国際開発コンサルタント名古屋支店より4名が事務局員として出席させていただいております。つきましては、本日の会議の議題につきましては株式会社国際開発コンサルタント名古屋支店よりご説明させていただきますので、よろしくをお願いいたします。

【事務局】（国際開発コンサルタント 加藤）

それでは、議題「(1) 小牧市地域公共交通網形成計画策定状況について」のうち、「地域特性と公共交通の現状整理について」ご説明申し上げます。

恐れ入りますが、お手元の資料1-1をお願いいたします。時間も限られておりますので、本日は資料1-1を用いてご説明申し上げますが、詳細については資料1-2をご確認ください。

まず、1ページ目左側、地域公共交通網形成計画の策定に向けてでございます。なお、標題部に記載の「(P. 1～P. 3)」については、資料1-2の該当ページを示しております。

(1) 小牧市総合交通計画策定後の社会動向であります。

人口減少社会の到来などの交通を取り巻く潮流の変化、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の改正などの国の動向、こまき巡回バスの再編などの小牧市の公共交通に関する取り組み、都市計画マスタープラン中間見直しなどの小牧市のまちづくりに関する取り組みといった小牧市総合交通計画策定後の背景を踏まえ、小牧市総合交通計画の内容をベースとしながら、まちづくり、観光振興、福祉施策と連携し、持続可能な公共交通ネットワークを形成するため、小牧市地域公共交通網形成計画を策定するものでございます。

(2) 地域公共交通網形成計画の位置づけでございます。

小牧市地域公共交通網形成計画は、第6次小牧市総合計画、まち・ひと・しごと創生総合戦略を上位計画とするとともに、他の分野別政策・計画との連携・連動を図り、その主要課題に対して公共交通の視点からその基本方針や有効な方策を定めるものでございます。

次に、1ページ右側、小牧市総合交通計画の進捗状況でございます。資料1-2では、4ページから17ページの内容となります。

小牧市総合交通計画では、小牧市が目指すべき将来像の実現に向け、個別の都市交通政策を施策パッケージとして示しています。この施策パッケージを取りまとめた重点プロジェクトのうち、公共交通に関連する七つの重点プロジェクトごとに、該当事業の達成状況を◎、○、△の3段階で評価しました。

続きまして、下の表をご覧ください。

重点プロジェクト名「東西公共交通軸や基幹バスについては、高い運行頻度や速達性・定時性の確保、高い品質のサービス水準の確保を図る」に対しては、中央道桃花台バス停前ロータリーやこまき巡回バスの再編などを実施しており、達成状況は増便によるバス運行の強化やICカード等の導入が達成できていない路線があるため○としております。

「小牧駅においてトランジットセンター、いわゆる乗り継ぎ拠点の整備を進める」に対しては、平成26年の小牧駅周辺の利用実態調査と平成27年の整備に関する市民アンケート調査を実施しており、達成状況は今後も整備の検討を行うため○としております。

「桃花台地区においてトランジットセンターの整備を進める」に対しては、中央道桃花台バス停前ロータリーの整備や中央道桃花台バス停前ロータリー内へのこまき巡回バス停留所の設置などを実施しており、達成状況は◎としております。

「名鉄小牧線各駅において交通結節機能の強化を図る」に対しては、田県神社前駅西駅前広場の整備を進めており、達成状況は小牧口駅における駅前広場の整備を図る予定であるため○としております。

「自発的な行動の変化を導くため、コミュニケーションを中心とした交通施策であるモビリティ・マネジメント、いわゆる一人ひとりの移動について社会的にも個人的にも望ましい方向に自発的に変化することを促すコミュニケーションを中心とした交通政策を展開していく」に対しては、時刻表の配布やバスの乗り方教室、まちづくり出前講座『わたしたちの暮らしと公共交通』を開催しておりますが、達成状況は企業・職場や学校教育において実施されていないため○としております。

「地域住民の参画による、地域住民の生活ニーズに応じた巡回バスの見直し及び評価を実施する」に対しては、こまき巡回バスの路線再編時の公共交通地域懇談会の開催や交通空白地を経由する路線の運行を実施しており、達成状況は◎としております。

「地域住民の参画による、デマンド運行等地域独自の交通システムの試験的導入を実施する」に対しては、デマンド交通の実証実験運行を実施しており、達成状況は◎としております。

次に、2ページをお願いいたします。地域特性の整理でございます。資料1-2では、18ページから36ページの内容となります。

人口の動向としましては、本市の人口は、ほぼ一貫して増加傾向にあります。特に昭和30から40年代にかけて人口増加が顕著に見られ、その後も微増傾向を続けてきましたが、最近の20年間では伸び率は鈍化しています。

将来人口としましては、小牧市立地適正化計画にて採用している国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、これまでの人口動態が今後も続くと仮定した場合、本市の人口は将来的に減少を続けることが見込まれます。

次に、2ページ右上側、主要集客施設の立地状況でございます。資料1-2では、37ページから40ページの内容となりまして、主要集客施設の種類ごとに図としてまとめてございますので、あわせてご確認ください。

主要集客施設の立地状況としましては、本市の主要集客施設はおおむね鉄道やバス路線の沿線に立地しています。しかし、国道や県道沿い等に立地した施設の中には駅やバス停から離れている施設も存在しており、アクセス利便性の向上が課題です。

主要観光施設の利用状況としましては、愛知県観光レクリエーション利用者統計によりますと、市内の主要観光施設として田縣神社、パークアリーナ小牧、小牧市温水プール等が立地しており、

これらの施設の年間利用者数は合計で約159万人となっております。

次に、2ページ右下側、既往調査から見た移動特性の把握でございます。資料1-2では、41ページから46ページの内容となります。

道路交通センサスから見た自動車交通の状況としましては、国道41号では交通量が4万台を超えています。また、国道155号では交通量が2万台を超えています。

中京都市圏パーソントリップ調査から見た移動特性としましては、外出するときの移動手段の利用割合の推移から見ますと、昭和46年以降、自動車の占める割合は増加を続けていますが、一方、自転車・徒歩の割合は減少してきています。

次に、3ページをお願いいたします。公共交通の現状でございます。資料1-2では、47ページから67ページの内容となります。

運行状況であります。本市の鉄道は、名鉄小牧線が市中央部を南北方向に縦断しており、市内には小牧駅を初め6駅、市境に近接して牛山駅が設置されています。

本市のバスは、民間の交通事業者により名鉄バス、ピーチバス、桃花台バスを初めとする路線バスと近距離高速バスが運行されています。また、中央道桃花台バス停には、近距離高速バス等の高速バスが停車いたします。さらに、本市ではこまき巡回バスを運行しており、隣接する犬山市による犬山市コミュニティバス、豊山町によるとよやまタウンバスが運行されています。

利用状況であります。名鉄小牧線の乗降客数は年々増加しており、平成27年度には年間約3,060万人となっております。

路線バスの利用者数は、平成24年から26年度にかけて、春日井市内線や春日井・桃花台線、小牧・勝川線で増加しています。一方、岩倉線や桃花台線、ピーチバス等は減少傾向にあります。

こまき巡回バスの利用者数は、路線の拡充や運行頻度の増加等のサービス水準の向上に伴い、増加傾向にあります。平成27年4月と平成28年4月の2カ年にわたる再編により利便性向上を図った結果、平成27年度の利用者数は前年から約8万人ほど増加しています。

こまき巡回バス運行負担金は、平成10年度以降、サービス水準の向上により運行に係る市負担金は増大し、平成27年度では年間約2億3,000万円となっております。一方で、利用者が増加したことにより、利用者1人当たりの市負担金は運行当初と比べ減少しています。

以上、議題「(1)小牧市地域公共交通網形成計画策定状況について」のうち、「地域特性と公共交通の現状整理について」の説明とさせていただきます。

続きまして、議題「(1)小牧市地域公共交通網形成計画策定状況について」のうち、「公共交通ネットワーク評価に関する全国事例の収集・分析について」ご説明申し上げます。

恐れ入りますが、お手元の資料2-1をお願いいたします。時間も限られておりますので、本日は資料2-1を用いてご説明申し上げますが、詳細については資料2-2をご確認ください。

まず、1ページ左側、小牧市における公共交通ネットワーク評価の現状と課題でございます。

現状の評価基準は、平成27年度、28年度にわたるこまき巡回バスの再編に伴い、下の表に示すようなこまき巡回バスの評価・検証に係る基準を定め、路線ごとに評価基準を定めております。

次に、1ページ右側、現状の評価の課題であります。

現在各コースの1日当たり利用者数等の評価を行っていますが、今後、各コースが地域住民にとって必要とされているかを判断し、サービス水準等を見直していく際においては、大きく以下の二つの課題が生じるものと予想されます。

課題の一つ目は、評価結果による見直し方針の設定でございます。現状では評価基準値を設定し

ているものの、その基準値を下回った場合等に、路線機能の変更やサービス水準の変更といった見直しをどのように行うかについての方針が示されていないことから、他市町の事例を踏まえ、評価結果による見直し方針を設定する必要があります。

課題の二つ目は、公共交通ネットワークとしての評価でございます。現状の評価は路線単位の評価となっておりますが、公共交通は幹線と支線が連携していることで幹線としての機能が保ち得ることを考えますと、路線ごとに基準をクリアしたかどうかの評価も必要であります。鉄道や路線バスを含めた市内公共交通をネットワークとして捉えた場合の評価をあわせて行うことが必要です。

次に、裏面をお願いいたします。事例調査でございます。

(1) 評価結果による見直し方針の設定事例といたしまして、ここでは伊賀市の事例を挙げております。

伊賀市交通計画では、左側のフロー図に示しますように、市内のバス路線を基幹バス、準基幹バス、地域アクセスバスの三つの路線機能に分類した上で、それぞれの事業評価基準を上回るか下回るかの評価を行っています。その結果により、路線機能の変更やサービス向上の検討を行うものとしております。なお、その他の都市の事例としまして、資料2-2では6ページに高梁市の事例を記載しておりますので、そちらもご確認ください。

(2) 公共交通ネットワークとしての評価事例といたしまして、ここでは豊川市の事例を挙げております。

豊川市では、バス路線の運行実態と市民アンケートによる市民ニーズを踏まえてネットワークとしての評価を行い、コミュニティバスと路線バスが並走する区間の効率化により、ほかの区間の運行頻度向上を図るなどの対策を講じています。なお、その他の都市の事例として、資料2-2では8ページから15ページに会津若松市の事例を記載しておりますので、そちらもご確認ください。

最後に、事例調査のまとめでございます。

(1) 評価結果による見直し方針の設定事例では、伊賀市の事例より、基幹路線、支線路線といったバスの機能分類に応じた事業評価基準と、その評価による路線機能の変更やサービス水準向上の検討手順がフロー図により示されており、小牧市における地区内幹線系路線・支線系路線の機能分類に応じた評価基準の設定やサービス水準変更手順の検討に当たっての参考となります。

(2) 公共交通ネットワークとしての評価事例では、豊川市の事例より、バス路線の運行実態と市民ニーズを踏まえたネットワークとしての評価やバス路線の重複区間の効率化といった検討内容が小牧市におけるネットワーク評価等に当たっての参考となります。

なお、今後整理を行う小牧市における課題を踏まえ、料金体系等も含めたサービス水準の変更に係る具体的な方針や指標を定める上で、先進的な事例を参考とした検討が行えるよう今後も全国事例の収集・分析を進めてまいります。

以上、議題「(1) 小牧市地域公共交通網形成計画策定状況について」のうち、「公共交通ネットワーク評価に関する全国事例の収集・分析について」の説明とさせていただきます。

よろしくご審議賜りますようお願いいたします。

【磯部会長】

ありがとうございます。

議題(1)で資料1-1、1-2、資料2-1、2-2を使って、今やろうとしている公共交通網形成計画のつくる準備をしているということでございますけれども、何かこの資料の内容または

まとめ方についてご意見、ご質問ございましたらお受けいたしますが、いかがでしょうか。

【小柳委員】

小柳でございます。

この中で、質問としては当てはまらないのかなと思いますが、その点はちょっと私の知識不足かも知れませんが。

1-1の2. 小牧市総合交通計画の進捗状況ということでございまして、それぞれの項目に◎、○印を書かれて現在の状況を見ておりますが、「桃花台地区においてトランジットセンターの整備を進める。(高速バスや基幹バスとの結節点としての機能強化を図る)」ということで、ロータリーをつくっていただきました。もう一つは、駐車場をつくっていただきました。これは地元の要望でお願いした経緯もありますが、せっかくつくっていただいて○印をいただいても、利用状況がどうかということが私ども非常に心配でございます。

でき上がった当時は1日に5台以下という状況でしたので非常に心配しておりましたけれども、最近は少し状況が変化しているということがあると思いますが、その点は把握されながらこの進捗状況をつかんでいただいているのかなということですが、いかがでございますかね。

【磯部会長】

今のご質問わかりますでしょうか。物をつくったというのは評価するんですけど、どうやって利用されているかのフォローはされていますかということですが、いかがでしょうか。

お願いします。

【事務局】(松浦係長)

こちらのロータリーを整備したことよっての状況につきましては、バス停に関するアンケートを実施しておりますので、後ほどそちらで説明させていただきたいと思っておりますので、よろしく願いしたいと思います。

【磯部会長】

ほかいかがでしょうか。

【古田委員】

バス協会の古田といいます。

資料1-1の2. の真ん中下よりのところに、「自発的な行動の変化を導くため、コミュニケーションを中心とした交通施策であるモビリティ・マネジメントを展開していく」という項目の中で、達成状況で一応○になってはいますが、企業・職場や学校教育において実施されていないという書きぶりがあるんですけど、これなかなかやっていくのに大変だなというふうに思っているんですけど。

例えば小牧市さんでは、これを企業とか職場、学校教育というところについて、どのような形でモビリティ・マネジメントを展開していく考えなのか、そこをちょっとお聞きしたいなと思っております、質問させていただきます。

【事務局】（松浦係長）

今委員が言われたとおり、企業・職場、学校教育に公共交通を利用していく、利用促進を図っていくことは小牧市としても課題だと考えておりますので、そちらの行動計画につきましては、今回交通網形成計画を策定していく中で、来年度、行動計画を策定する予定をしておりますので、来年度そちらのほうでまとめさせていただきたいと思っております。

以上でございます。

【磯部会長】

恐らく多分学校か企業さんにお任せするとしたら、じゃあ学校とか企業は何ができるかなということも心配なんですね。それがないと、やっぱり学校さん、企業さんも何もできないわと、今までどおりだわということになってしまうので、何かそういったメニューみたいなものを提示しないと、何をやっていいかわからんということになってしまいそうなので、ぜひともその辺のメニューづくりもあわせてご検討ください。

ほかいかがでしょうか。

【桑原（代理：塚崎）委員】

愛知県交通対策課です。

意見というわけではないですけれども、参考までにここで申しつけさせていただきたいことがあります。

1の（2）網形成計画の位置づけの中に、関連計画として愛知県の「あいち公共交通ビジョン」ということが記載されているんですけれども、これについては今年度策定に向けて実施しているものでして、今、取り組み等内容についてまとめているものですので、参考までに申しつけさせていただきます。

【磯部会長】

今年度でき上りますから、その内容を参考にして小牧市もやっていくということによろしいでしょうか。

ほかいかがでしょうか。

まだまだ概要だけの状況ですので、もっと詳しく具体的に小牧市にどうやって役に立つのかなというのが次の課題にはなってくると思いますけれども、現在のところでの進捗状況についてのご承認をいただきたいと思います。

議題「(1) 小牧市地域公共交通網形成計画策定状況について」、内容が二つありまして、「地域特性と公共交通の現状整理について」、二つ目が「公共交通ネットワーク評価に関する全国事例の収集・分析について」、現在のところ作業の内容につきましては原案どおり承認することでご異議ございませんでしょうか。

【全委員】

異議なし

【磯部会長】

ありがとうございます。議題（１）につきましては、承認されました。

続きまして、「（２）小牧市地域公共交通網形成計画策定に係る各種アンケート等の実施結果（速報版）について」でございます。

前回の会議におきまして、小牧市地域公共交通網形成計画策定に係る各種アンケート等の実施については議決いたしました。これらの調査の結果につきまして、現時点における状況を速報版として取りまとめたものでございます。

まず、この件につきまして事務局から説明をお願いいたします。

【事務局】（国際開発コンサルタント 加藤）

それでは、議題「（２）小牧市地域公共交通網形成計画策定に係る各種アンケート等の実施結果（速報版）について」、ご説明申し上げます。

恐れ入りますが、お手元の資料３－１をお願いいたします。時間も限られておりますので、本日は資料３－１を用いてご説明申し上げますが、詳細については資料３－２をご確認ください。

まず、１ページ目、市民アンケート調査でございます。標題部に記載の「P. 1～P. 35」は、資料３－２の該当ページを示しております。

市民アンケート調査の回収率は41.8%でございます。調査精度を十分確保できるサンプル数となっております。

続きまして、２．項目別集計結果であります。

（１）移動条件については、問７の鉄道やバスの乗り降りについて、「ひとりで乗降できる」が約94%を占める一方、「人の介助があれば乗降できる」「車イスのままであれば乗降できる」がそれぞれ約1～2%、「鉄道やバスの利用は難しい」とされる方も約1%存在しています。

問８の自力での移動が困難になったときに実施してほしい施策は、「タクシー割引券の配布」が約44%と最も多く、次いで「福祉タクシーの料金補助」が約37%となっております。

（２）自家用車の利用につきましては、問１２の自家用車利用者の公共交通が利用可能となる条件が、「自宅などから最寄りの駅やバス停が近いなら」が最も多く、次いで「バスの運行頻度」「行き先までの所要時間」の順に多くなっています。

（３）こまき巡回バスについては、問２５の公共交通に対する市の方向性について、「公共交通の充実は、市民にとって重要な施策であるため、今後も重視していくべきである」が約77%を占めています。また、問２６のこまき巡回バスの料金体系については、「現状の料金体系を維持し、市負担額はこのままでよい」が約47%を占める一方、「65歳以上の料金無料を市内の方に限定して、少しでも市負担額を減らすべき」も約40%存在します。

（４）公共交通の維持・活性化についてであります。問２９の小牧市内の交通環境の満足度は、いずれの交通手段も不満足度が満足度を上回っています。問３０の今後の公共交通に期待する役割は、「名古屋へ行きやすいこと」がもっと多く、次いで「車が利用できなくなったときに利用できること」が多くなっています。

２ページをお願いいたします。バス利用者アンケート調査でございます。資料３－２では、72ページから92ページの内容となります。

こちらについても、アンケート回収率は23.9%であり、調査精度を十分確保できるサンプル

数となっております。

2. 調査結果であります。

(1) アンケートを受け取ったバスの満足度については、ピーチバスでは「自宅から最寄りバス停までの距離」の満足度が高くなっています。また、桃花台バスでは「自宅から最寄りバス停までの距離」「降車バス停から目的地・施設までの距離」の満足度が高くなっていますが、一方で「バスが運行している時間帯」の不満足度が高くなっています。2ページ右上の名鉄バスでは、「降車バス停から目的地・施設までの距離」の満足度が高くなっています。また、こまき巡回バスでは、「自宅から最寄りバス停までの距離」「降車バス停から目的地・施設までの距離」「バスの運賃」「バスの運転手の対応」の満足度が高くなっています。

(2) バスの利用については、問8の乗り継ぎ利用について、ピーチバスでは名鉄小牧線への乗り継ぎが約33%、桃花台バスではJR中央本線への乗り継ぎが約71%、名鉄バスでは「JR中央本線」への乗り継ぎが約42%となっております。一方、こまき巡回バスでは、「乗り継ぎしていない」が約65%と多くなっています。

(3) こまき巡回バスの維持については、問16の公共交通に対する市の方向性について、「公共交通の充実は、市民にとって重要な施策であるため、今後も重視していくべきである」が約82%を占めています。

問17のこまき巡回バスの料金体系については、「現状の料金体系を維持し、市負担額はそのままよい」が約52%を占めています。

3ページ目をお願いいたします。左側、バス利用者ヒアリング調査でございます。資料3-2では、36ページから71ページの内容となります。

2. 項目別集計結果であります。 (1) バスの利用実態のうち、乗車バス停から降車バス停までの移動をあらわすバス停間ODについては、こまき巡回バスは小牧駅や小牧市役所前と各地域を結ぶ利用、路線バスは春日井駅や岩倉駅と市内を結ぶ移動が多くなっています。

利用開始時期につきましては、こまき巡回バス利用者全体では、こまき巡回バスの路線再編以降である平成27年4月から平成28年3月より利用、または平成28年4月以降から利用が約31%となっています。

続きまして、3ページ右側、バス停利用者調査でございます。資料3-2では、93ページから102ページの内容となります。

2. 項目別集計結果ですが、(1) 中央道桃花台バス停の利用実態のうち、中央道桃花台バス停の利用開始時期について、ロータリー整備以降の新規利用者は約37%となっています。また、中央道桃花台バス停の各種利用環境に対する満足度は、どの項目においても満足度が不満足度を上回っています。

4ページをお願いいたします。企業アンケート調査でございます。資料3-2では、103ページから108ページの内容となります。

2. 項目別集計結果でございます。

(1) 従業員の通勤時の交通手段について、問2の従業員の通勤時の交通手段は、「自家用車」が約71%と最も多くなっています。問5の通勤のために公共交通を利用する際に不便だと思える点は、「鉄道・バスの運行頻度」が約58%と最も多くなっています。問6の企業にとって望ましい通勤手段は、「自家用車」が約62%を占めています。問9の通勤手段として公共交通の利用を促進することにメリットを感じるかについては、約22%がメリットを「大いに感じる」と回答して

います。

続きまして、4ページ右側、教育機関アンケート調査でございます。資料3-2では、109ページから113ページの内容となります。

2. 項目別集計結果であります。

(1) 学生の通学時の交通手段について、問2の学生の通学時の交通手段は、「自転車」が約54%と最も多くなっています。問5の通学のために公共交通を利用する際に不便だと思う点は、「駅から学校までの交通手段」が約40%と最も多くなっています。問6の学校にとって望ましい通学手段は、「自転車」と「送迎バス(スクールバス)」がそれぞれ半数を占めています。問8の通学手段として公共交通の利用を促進することにメリットを感じるかについては、約17%がメリットを「大いに感じる」と回答しています。

次に、5ページをお願いいたします。通過時刻調査でございます。

2. 路線別集計結果であります。 (1) こまき巡回バスの運行実態について、18北部東部右まわりコースの遅延状況は、味岡駅と味岡中学校北バス停間や下末と竹林北バス停間など、特定の区間でいずれの便においても遅延時間が増大する区間が存在しています。

最後に、5ページ右側、調査結果のまとめ(案)でございます。

ここでは、小牧市地域公共交通網形成計画策定に係る各種アンケート等の調査の趣旨である以下の四つの視点から、現段階での調査結果をまとめております。

一つ目は、小牧市総合交通計画に掲げる施策の進捗状況を把握するであります。

市民アンケート問29の市内交通環境の満足度では、小牧市総合交通計画策定時のアンケート結果に比べ、鉄道、路線バス、こまき巡回バスにおいて満足度が改善されています。バス利用者アンケート問13のバスサービスや乗り継ぎに関する満足度では、こまき巡回バスのバス停位置や運賃に関する項目において、ほかの項目よりも満足度が高くなっています。バス利用者ヒアリングでは、こまき巡回バスの利用者のうち、3割は路線再編後の新規利用者となっています。バス停利用者調査では、ロータリー整備後の新規利用者が一定数存在しているとともに、項目別の満足度において、全ての項目で満足度が不満足度を上回っています。

以上のことから、こまき巡回バスの路線再編や中央道桃花台バス停前ロータリー等の整備など、小牧市総合交通計画に掲げる施策には一定の効果があったと考えられます。

二つ目は、各公共交通機関が連携して地域の交通需要に対応するため、それぞれの役割を明確化するであります。

市民アンケート問30の今後の公共交通に期待する役割では、名古屋への行きやすさ、将来的な利用、医療機関や拠点間の移動に期待する意見が多くなっています。また、市民アンケート問7の鉄道やバスの乗り降りについて、乗降介助や車イスでの乗車が必要な方が一定数存在します。バス利用者アンケート問8の乗り継ぎ利用では、路線バスから名鉄小牧線やJR中央本線への乗り継ぎ利用が多くを占めており、複数の公共交通機関を乗り継いで利用する方が多い状況です。

以上のことから、小牧市地域公共交通網形成計画の策定に当たっては、市民の市内外への移動ニーズに対し、路線機能に応じた各公共交通機関の役割の明確化とさらなる相互連携が求められます。

三つ目は、市民に許容される財政負担額や利用者に許容される受益者負担額を把握するでございます。

市民アンケート問26のこまき巡回バスに対する費用負担では、現状程度の負担を求める意見が5割、65歳以上の料金無料を市内の方に限定し市の負担減を求める意見が4割を占めています。

バス利用者アンケート問17のこまき巡回バスに対する費用負担では、現状程度の負担を求める意見が5割を占めている一方で、65歳以上の料金無料を市内の方に限定し市の負担減を求める意見が3割を占めています。

以上のことから、小牧市地域公共交通網形成計画の策定に当たっては、現在の財政負担状況や市民及び利用者の意向を踏まえた受益者負担額の検討が求められます。

四つ目は、こまき巡回バスの各コースについて、乗降バス停やダイヤの妥当性などの実態を把握するであります。

バス利用者アンケート問14の今後バスサービスを維持・拡充していく際に重視する項目では、こまき巡回バスにおいて運行本数、運行時間帯、運行経路、定時性が主に挙げられています。通過時刻調査では、特定の区間において、いずれの便においても遅延時間が増大する区間が存在しています。

以上のことから、こまき巡回バスのさらなる利便性向上に向け、安全性・定時性を確保しながら利用者ニーズに合致したダイヤの設定が課題です。

ただいまご説明させていただいたアンケート調査結果につきましては、時間の都合上、速報値となっておりますので、次回、回答者の属性に応じたクロス集計等をしたものをご提示させていただきたいと考えております。

また、今回のアンケートのほか、従業員アンケート及び交通事業者ヒアリングを実施しているところがございますので、次回あわせてご提示させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

以上、議題「(2) 小牧市地域公共交通網形成計画策定に係る各種アンケート等の実施結果（速報版）について」の説明とさせていただきます。よろしくご審議賜りますようお願いいたします。

【磯部会長】

ありがとうございます。

ただいま、本当に短い時間で調査をして結果をまとめていただいたものの、いわゆる速報版という形でご報告いただきましたけれども、これについて何かご意見とかご質問ございましたらお願いしたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

【事務局】（松浦係長）

先ほど小柳委員からご質問がありました件について、補足で説明させていただきます。

今回アンケートの概要版の3ページの右側に桃花台バス停の利用実態について概要版として掲載させていただいておりますが、それに加えて、桃花台のパーク・アンド・ライドの利用状況を報告させていただきます。

平成28年4月から10月までの7カ月間における利用状況でございますが、4,959台でございます。1カ月当たり708台でございます。この状況でございますが、対前年同月比と比較しますと、昨年度は4,498台、1カ月当たり643台ございましたので、461台の増でございます。1カ月当たり65台増加でございます。

以上、つけ加えて報告させていただきます。

以上でございます。

【磯部会長】

利用者が増えているんじゃないかなというのが事務局のご説明ですね。

ということでございますけど、ほかに何か。今のに関連してもよろしいし、ほかでも構いませんから、何かございましたら。いかがでしょうか。

【古田委員】

1 ページの中で修正していただきたいのが、1 ページの右の真ん中にあります問26、「市の負担額はこのままでよいが約47%を占め占める一方」は「47%を占める一方」でいいのかなと。

問30のところで「名古屋へ行きやすいことがもっと多く」って書いてあるんですけど、「最も多く」じゃないのかなというところ。

それから、小牧市さんのアンケートをした年齢層が、要はほかの自治体さんでいくと、大体アンケートをすると7割とかが高齢者になるんですけど、ここは割と若い方から年寄りの方から広く利用されている状況になっているので、若い人から年寄りまでの意見が混在してくると、年寄りの意見が聞きづらいのかなと。福祉だけがいいというわけではないですけど、そんなような気がして。これからまたクロスされるというお話ですので、またそこら辺、若い人の傾向とか年寄りの傾向とかが見ればいいのかなと思いますけど。

今の調査の1ページの右の問12のところですけど、公共交通が利用可能となる条件として、マイカーを利用されている人が公共交通を利用可能となる条件としては、自宅から最寄りの駅やバス停が近いなら使うと、利用が可能だと言っているんですけど。

先ほどのいろいろとご報告の中の、例えば名鉄バスの満足度とかこまき巡回バスの満足度、2ページですけど、ピーチバスの満足度というところを見ますと、バス停から目的地、施設までの距離というところについては割と満足だっ出ていますので、利用される方はこの最寄りバス停までの距離については満足をされているという傾向があるのであれば、マイカーの方たちに対しても、もっと乗っていただくと。バス停が割と近くにあって使いやすいものになっていますよという広報をもっとすれば、もっと転換がされてくるのかなと個人的には思ったんですけど、ここら辺はちょっと、小牧さんがどういうふうに今お考えなのかまた教えていただきたい。

【磯部会長】

ありがとうございます。

最初のは字句の修正で、二つ目が年齢階層の話とかありますし、最後の質問が自家用車利用者へのアンケートの解釈ですね。その辺だと思います。

事務局、お願いします。

【事務局】（河村主幹）

今お尋ねの件でございます。

まず1点目でございます。ご指摘いただきました1ページ目の訂正箇所でございますが、こちらは誤りでございましたので、この場をおかりしまして訂正させていただきます。おわび申し上げます。

ご指摘のありましたとおり、1ページ目の右上の問26に関しましては「47%を占める」ということで、「占め」は削除をお願いいたします。もう一つは、(4)の右側の問30でございます。

「もっと多く」のところ、「も」をつけ加えていただきまして、「最も多く」ということで訂正をよろしくお願いいたします。おわびさせていただきます。

2点目に関しましては、今回これは速報版ということでございます。次回には、今ご意見があったことも含めましてクロス集計をさせていただき、またご提示させていただきたいと思っております。

最後に、利用に関しましてですが、資料3-2をご覧ください。21ページでございます。

事務局といたしまして特にこの点、今回のアンケートの中で結果が出た一つでございますが、こまき巡回バスの利用頻度でございます。問23で利用されていない方が約79%という結果が出ております。これに関しては非常に、まだまだ事務局といたしまして利用促進が足りないと感じております。これをもとに若い方、高齢者の方、また外国人の方も含めまして、あらゆる施策で利用促進、一人でも多く乗っていただくよう今年度いろんな計画をもって進めておりますが、今後につきましても、一人でも多くの方に乗っていただくようにこちらのほうは利用促進を進めていきたいなと感じておるところでございます。

以上でございます。

【磯部会長】

では、中部運輸局さんから。

【杉本委員】

愛知運輸支局の杉本であります。

感想めいた話を少しさせていただくことになります。ご容赦ください。

先ほどもありましたように、1ページの問12のところ、自宅などから最寄りの駅までバス停が近いなら利用しますよというアンケート、あるいは問30の車が利用できなくなったときに利用できることというアンケート結果があります。

こういうアンケート結果自体はあれですが、実際施策をすると結構、それに反比例してなかなか乗ってくれないというところがありまして。車が利用できないと逆にバスも利用できなくなるという形もありますので、今のうちから車からの転換、少しでも転換するような施策をしていくことがやっぱり重要なのかなと感じたところでもあります。

問25の関係あるいは問26の料金体系の関係も、市の負担額というところの場合もあります。公共交通ってというのはやっぱりいろんな施策に通じているものだろうと思います。ただ単に人を運ぶという目的だけではなくて、健康面だとか環境面だとか、あるいは、場合によってはお出かけすることによって商店街で買い物をしてもらおうとかいった話がありますので、経済面だとかさまざまな施策に通じていると思っています。

そうしたことを踏まえて、市負担額をどう見るのか。公共交通を少しでもやることによって、別の市の負担が、財政負担が減ってくるということも、いろんなところでデータとして出ているところもありますので、そういったものも含めて、市民の方とかにお示ししていくことが重要なと感じたところでもあります。そこが感じたところでもあります。

あと、私事で大変申しわけありません。先ほどMMの話がございました。私も田舎育ちというわけではないですけども、私の両親は私が小さいときには免許証がありませんでしたので、家には車がありませんでした。したがって、必然的に父親はバスで通勤をしていましたし、私どもは買い物をするときは徒歩、自転車、あるいはちょっと遠出をする場合にはバスを使うということで、こ

れを必然的にやっていました。

バスを使うことによって見えてくるものって非常にたくさんあったかと思います。いろんなコミュニケーションもありましたし。バスの時刻表を、うちの母親は改正するたびに最寄りのバス停に行って広告の裏側に書いて自分のところに張っておくと、そうすることによってバスの時刻に合わせた生活体系をとっていた。このバスがあるからそれまでにこういうことをやろうかなとか、このバスが帰ってくるからその間に買い物をしようかとか。行き帰りのバスの時刻に合わせた生活スタイルをしていたかなと思いますし、私もやっぱりそういうふうにしていました。

子供のころはやっぱり親子で出かけると非常にうれしくて、最寄りのバス停のところには駄菓子屋さんがありましたので、バスを待っている間にチューインガムを買ってもらったりとか、あるいは帰りのバスが30分ぐらいあるから近くのラーメン屋さんでラーメンを食べていこうかとか、30分あるから喫茶店でパフェを食べるとかいった、すごいうれしいイメージがあります。こういったお出かけすることによって、わくわく感を覚えているかなと。

したがって、私自身はバスに関しての抵抗感って全く今でもなくて、普通にこういった会議のときにも極力やっぱりバスに、公共交通を使って来ようと思っと思っていますし。そういったことで、両親みずからが利用促進を図ってくれていたのかなと思いますし、小学校低学年で自分1人でバスに乗って病院にも通っていましたので、そういったものに関しては全く抵抗がないんですが。

先ほど利用促進策っていうのがありましたし、企業向けの話もありますし、いろんな形もあります。今、大学生がかなり、免許を取らずに公共交通で通う人が増えてきたとも聞いていますし、そういったところへの転換とか、あるいはやっぱり小さいころからバスに乗るという癖みたいな習慣みたいな、楽しみみたいなのを覚えていただくとまた違ってくるのかなと。これが結果的には、やっぱり積み重ねがモビリティ・マネジメントの転換につながっていくのかなと思っております。

ぜひ皆様方少しでもバスに乗っていただいて、自分の子供さんとかお孫さんを連れて乗る楽しさみたいなものを教えていただければありがたいかなと思います。

ちょっと感想めいたことで申しわけありません。

【磯部会長】

ありがとうございます。

調査結果の解釈に参考になるようなご意見だったと思いますので、その辺は事務局側も加味してください。

【小柳委員】

アンケートにつきましては、回収率が少し個人的にはちょっと不満な点もありますが、おおむね的確な意見が反映されているんじゃないかなと理解します。

ただ、問29の小牧市内の交通環境の満足度で不満足のほうが多いよということですけど、現実には車社会の中でいきなり巡回バスあるいはそれぞれのバスへ乗ってくださいということとはなかなかできないので、こういう答えが出てしまったのかなと思います。

私も小牧市内全体はなかなか見つめないんですけども、たまたま桃花台地区でよく会議をやります。そういう中で見ますと、免許証を更新する、85歳ぐらいまでは乗りたいという人がかなり多いんですね。ですから、車は便利であるし愛着を持っているということもありますが、現状の中ではいろいろな事故も発生していますので、そういうことは別として、やはり今おっしゃったよ

うに公共交通、巡回バスをいかに利用するかということのをこれから進めていくことが必要だと思います。

随分地元でも、巡回バスが改善されましたので、便利に喜んで使っていただくことが増えました。そういう意味では、増えてうれしいんですけども、実際には65歳以上の人は無償でどうぞということですので、今後このまま続けていくと市の財政的な問題について若干の問題が出てくるかなというところも、少しアンケートの中に反映されている部分があるので、これは今後の課題として非常に大切な部分じゃないかなと思っています。大体アンケートについては、なるほど、いいところが出たのではないかという感じを受けました。

以上です。

【磯部会長】

ありがとうございます。

【松浦委員】

小柳先生が言われたところもあるんですけども、このアンケートの中での料金体系の中でちょっと気になった大きな数字が、65歳以上の料金の無料を市内の方に限定し少しでも市負担額を減らすべきってありますけれども、それが28%というのがあるんですけども、これは恐らく市外の方はほとんど乗っていないような気がしますので、その数字が。ただこういう発言でアンケートをされるんですけども、それが3割近くと言われても、ほとんど乗っていないで、本当に財政的にこれが負担減につながるかというのは非常に、この3割という数字が大きく出ていますけれども、どうなのかなという気がします。

【小柳委員】

実際は市外の方が乗っていることは少ないと僕も思います。それを知らないから、実は情報が入っていないからそういうアンケートに出てきたと思います。

ですから、これはもう少し情報を共有することになれば。例えば65歳でも若干の負担はいいんじゃないかという話もあるんですよ。全体どうかといえば、ただのほうがいいに決まっているということになるけれど、実際には財政負担から考えて、小牧市の持ち出しがどの程度まで許容範囲なのかということもしっかりと住民に理解していただくと、ともに育てていく公共交通だという発想をやっぱりしっかり持つというPRやら情報公開をしていくと、それから意見を聞いていくということをしていけば。私は松浦社長がおっしゃったことはそういうように思っています。

【磯部会長】

ありがとうございます。

情報を、アンケートに答えた人、熱心にやっていただいたと思うんですけども、どこまで本当の情報を知っているかなというのがちょっと不安だというのがありますが、これは本当に我々の責任でもありますので。

とにかくこういういろんな調査の結果を公表したり、いろんな状況を出すことによって、皆さんからまた正しい評価をもらうという努力が、繰り返し繰り返しやらざるを得ないんじゃないかなとは思っていますので、その点は皆さんもご協力をお願いいたします。

何か事務局ございますか、今のご発言で。よろしいですか。

【事務局】（松浦係長）

今回のバス利用者アンケート調査におきまして、お住いの地域をお聞きした資料がございます。お手元の資料3-2の74ページをご覧ください。

下の表が、こまき巡回バスが一番下のところになっておりますが、小牧市内の方は約88%の状況でございまして、約12%の方が市外という状況でございまして、そういったものに基づいて先ほどのアンケート調査結果となっているところでございます。

以上でございます。

【磯部会長】

ありがとうございます。こういう資料もあるということですね。

ほかいかがでしょうか、このアンケートの結果につきまして。まだまだこれから詳細な分析はやっていくということでございますが。

よろしければ、今の時点での速報版ということですが、これについて原案どおり承認することでご異議ございませんでしょうか。

【全委員】

異議なし

【磯部会長】

ありがとうございます。議題（2）につきましても承認されました。

続きまして、議題「(3) 小牧市地域公共交通網形成計画策定に係る公共交通地域懇談会の実施について」でございます。

小牧市地域公共交通網形成計画の策定に当たり、市内の公共交通に対するニーズの確認や公共交通の利用促進に関するアイデア等を把握するために懇談会を実施するものであります。

まず、この件につきまして事務局から説明をお願いいたします。

【事務局】（国際開発コンサルタント 加藤）

それでは、議題「(3) 小牧市地域公共交通網形成計画策定に係る公共交通地域懇談会の実施について」、ご説明申し上げます。

恐れ入りますが、お手元の資料4をお願いいたします。

まず、実施の目的でございますが、小牧市地域公共交通網形成計画の策定に当たり、市内の公共交通に対するニーズの確認や、公共交通の利用促進に関するアイデア等を把握するものでございます。

次に、実施日時につきましては、資料にありますとおり11月13日から26日まで、市内6地区において実施いたします。

次に、当日のプログラムでございます。挨拶や本日のテーマと進め方を説明した後、市内公共交通ネットワークの現状と各種ニーズ調査結果についてとして、本日ご審議いただきましたような市

内公共交通ネットワークの現状整理とか各種ニーズ調査の結果をもとに、パワーポイントを使用して説明いたします。次に、グループワークといたしまして、懇談会のテーマに基づいた議論を各グループごとに行い、ネットワーク形成の視点から皆が利用しやすい公共交通のアイデアなどについて議論いたします。その後、各グループでの議論をほかのグループに向けて発表しまして、講評、閉会挨拶を行います。

なお、懇談会の周知につきましては、資料4の裏面にごございますようなポスター等を、懇談会を実施する会場やピーチバス、こまき巡回バスの車内に掲示しているほか、広報こまき・市ホームページ、フェイスブック、地区回覧等を活用しまして周知に努めているところでございます。

以上、議題「(3) 小牧市地域公共交通網形成計画策定に係る公共交通地域懇談会の実施について」の説明とさせていただきます。よろしくご審議賜りますようお願いいたします。

【磯部会長】

ありがとうございます。

資料4で、もう今度の日曜日ですよね、11月13日というのが。11月13日、11月23日、11月26日の3日間で6地区こういう会議を開くということでございますけれども、これについて皆さんから何かご意見ございませんでしょうか。こんなふうにやったらいいとか何かそんなような。これから開催するので、こんな内容をぜひ盛り込んでほしいとかいうことがありましたら。いかがでしょうか。

【小柳委員】

何回も申しわけないです。

懇談会、非常に有効だと思いますが、巡回バスの利用者が非常に多いということで、先ほど遅延をする、巡回バスでということがありましたね、極端に遅延、遅れるというようなことがありました。その辺の取り組みについても恐らく質問が出ると思うので、その辺はどうするかということが答えが出ればいいと思います。それだけです。

【磯部会長】

何かございますか、事務局側から。

【事務局】(松浦係長)

小柳委員のご指摘のとおり、巡回バスで遅延しているコースがございます。それを受けまして、次回この地域公共交通会議に諮らせていただきたいと思いますと思っておりますが、来年4月に向けてダイヤの改正を予定しております。今回の遅延状況の調査結果に基づいたダイヤ改正を実施したいと思っておりますので、ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

【磯部会長】

どうでしょうか、懇談会をやるに際して。

【河村委員】

タクシー協会の河村です。

私も懇談会は非常にいいと思うんですけども、先着順で各定員40名となると、毎回お話をしたい人は限られちゃうと思うんですね。そうじゃなくて、もっと幅広くいろんな人を集めて何かできないのかなというのを常に考えているんですけども。具体的にどうすればいいかっていうのはわからないですけども。これだと、それぞれの地区でやはりお話ししたい人が集まって限られた意見に偏る可能性もあるんじゃないかという感じはするんですけども、その辺はいかがでしょうか。

【磯部会長】

人集めの悩みですけど、何か事務局。対応というか、集まりそうな状況なのか、ちょっと厳しい状況なのかというのを含めまして、何かご発言いただければ。お願いいたします。

【事務局】（河村主幹）

各地区の参加者の状況をご説明させていただきたいと思います。

事務局で、区長会、老人会の方々を通して各地区の皆様方にご案内の文書をお配りさせていただいたところがございます。また、市のホームページ、広報等でもご案内させていただいたところがございます。

今現在の状況でございますが、各地区の参加者の人数を申し上げます。小牧南地区が9名、小牧地区が6名、北里地区が11名、巾下地区が9名、味岡地区が5名、篠岡地区が18名という状況になっております。

ご意見をいただいたやり方がどうかというところがあったのかもしれませんが、そこは今後の課題といたしまして、事務局のほうで検討していきたいと思っております。

この場をおかりしまして委員の皆様方をお願いしたいこととございますが、各地区でお住いのお知り合いの方がおみえになった際には、ぜひお声かけのほうをお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

以上でございます。

【磯部会長】

そういう状況だということでもあります。まだ余裕は十分あるということでもありますけれども、一応締め切りという期限を切っていますけれども、その辺。

【事務局】（河村主幹）

小牧南、小牧地区に関しましては締め切ったという形で文書はなっておりますが、今の状況を踏まえまして、開催まで随時募集させていただいておりますので、よろしく申し上げます。

【小柳委員】

連係プレーとして思うんですけど、小牧南地区は11月13日の10時からで、この日は青少年健全育成市民大会があるということでかち合っちゃうんですね。そうすると、若い人たちは実際に希望しても行けないという時間帯でもあるんです。その辺は日程的な問題でやむを得ないかなと思うけれども、そういう実態があるということだけは僕ら頭の中に入れておかないといけないかなと。

【磯部会長】

地域の行事が土日祝日にあるんじゃないかと僕もちょっと思ったところがありますけれども、そういう事情があるようでございます。

ほか何かありますでしょうか。

【河村委員】

ついでに余分なことをちょっと言います。

タイミングですけれども、今回これが議題に出ているというのは、議題で否決したらどうなるのかと。ということは、もうちょっと早く、こういう具体的になる前にいろいろ議題として出していたかかないと。今の段階でこれを議題で出されてどうしますかと言われても、やりますとしか言いようがない。形だけで進めていると。

【小柳委員】

計画の中に入っている。

【河村委員】

ここで決めることは何ですか。募集ももうやっちゃってる、締め切りも終わっちゃってるところもある。そうすると、何を議論するのかという感じを受けます。

もう一つついでに言わせていただくと、今までの中間報告ですね、小牧市の地域公共交通網形成計画とかアンケートとか現状についても、これは議題じゃなくて報告でいいのかなという感じもする。ここで何を議論して何を決めるのかとなると、そぐわないような感じがするんですけども。ちょっと余分なことで申しわけないですけど。

【磯部会長】

これは当初の今年の作業スケジュールの中に入っていたんでしょね。多分その段階で承認を受けているということなので。

【小柳委員】

だったら報告でいいんじゃないかという。

【磯部会長】

今さらよりも、細かいことが決まりましたという報告でいいんじゃないかなというのが河村委員のご発言ですけれども、私もそう思うので、そういう扱いでいいですかね。別に議決要りませんのでと思いますので、私の判断でやらさせていただきます。皆さんそういうふうにいただければ、報告というので。年度の初めから作業はやること決まっていたので、そこで承認はしていると、我々地域公共交通会議としてはね。なので、細かい状況が決まったので今の段階でのご報告をしていただいたということで、そういうふう処理したいと思います。どうもありがとうございます。

あとは、私個人的に思ったのは、企業とか学校側の働きかけも必要だという話もありましたので、多分この地域住民に対するいろんなものの取り組み以外に、ぜひそういったのも必要じゃないかな

と思いますので。それは一体どの時期にやったらいいかまたご検討いただきまして、そういった対応もどこかでご検討ください。

これは報告を受けたという形で処理したいと思います。

次に、「(4) 小牧市地域公共交通網形成計画策定に係る課題整理について (中間報告)」でございます。これは地域特性と公共交通の現状整理の結果と各種アンケート等の実施結果を踏まえて、現時点での課題をたたき台として洗い出したものでございます。委員の皆様のご意見をお伺いするものでありますので、まずこの件につきまして事務局から説明をお願いいたします。

【事務局】(国際開発コンサルタンツ 加藤)

それでは、議題「(4) 小牧市地域公共交通網形成計画策定に係る課題整理について (中間報告)」についてご説明申し上げます。

恐れ入りますが、お手元の資料5をお願いいたします。

地域特性と公共交通の現状整理結果及び各種ニーズ調査結果を踏まえ、まちづくりや観光と連携した持続可能な公共交通ネットワーク形成を行う上での課題を整理しております。

まず、1) 多様化する市民ニーズ等に対応した公共交通サービスを提供する必要がありますにつきましては、図1に示しますように、名鉄小牧線沿線や桃花台ニュータウン等の地域において高齢者人口が増加していること、図2に示しますように、利用者アンケートでは、こまき巡回バスを利用するようになった理由として「高齢になったため」が多くなっていること、図3に示しますように、公共交通の乗り降りにおいて「人の介助があれば乗降できる」「車イスのままであれば乗降できる」とする人が存在すること、図4、5に示しますように、公共交通の利用が可能な徒歩での移動可能時間は市民アンケートと利用者アンケートで異なる結果となっていることから、多様化する市民ニーズに対応した公共交通を展開していくに当たっては、高齢者人口の増加を踏まえ、公共交通の乗降状況を考慮したバリアフリー車両の導入や利用者の歩行圏域を考慮したバス停設置の検討が必要であります。

次に、2ページをお願いいたします。

図6に示しますように、こまき巡回バスを利用していない市民は約80%を占めること、図7に示しますように、バスのダイヤやルート、運賃の認知度が約40%未満となっていることから、こまき巡回バスの認知度は高いものの利用していない市民が多い状況であるため、バスのダイヤやルート等を周知することにより利用促進を図ることが必要であります。

次に、図8に示しますように、こまき巡回バスの運賃体系に対する市民意向は、「現状の料金体系を維持し、市負担額はこのままでよい」が約47%を占める一方、「65歳以上の料金無料を市内の方に限定して、少しでも市負担額を減らすべき」も約40%存在していることから、こまき巡回バスのサービス提供に当たっては、適正な受益者負担に基づく運賃設定や福祉施策との調整を踏まえた料金割引制度の運用等の検討が必要であります。

次に、図9に示しますように、公共交通非利用者が公共交通を利用可能となる条件は、「駅やバス停の近接性」「バス運行間隔(運行本数)」が多く挙げられていることから、交通事業者、小牧市がそれぞれ独自に対応を図るのではなく、路線バスやこまき巡回バスが地域公共交通ネットワークとしての役割を明確化した上で、必要となるサービスの改善・提供を検討する必要があります。

3ページをお願いいたします。

2) 公共交通ネットワークとしての評価・検証及び対応方針を明確化する必要がありますにつきましては、図10に示しますように、こまき巡回バスの利用者が少ない路線に対する市民意向は、「減便をする」と「現状どおりバスを運行する」が同程度となっていること、図11に示しますように、こまき巡回バスの利用者は70歳以上の高齢者が半数以上を占めていること、図12に示しますように、市内公共交通利用者の半数以上が鉄道、路線バス及びこまき巡回バスなどを乗り継いで利用していることから、地域特性や利用特性を踏まえた個別路線評価の継続的な実施は必要ですが、今後は個別路線の評価結果を踏まえた個別路線の確保・維持・改善に対する対応方針の明確化が必要であります。

また、対応方針の明確化に当たっては、利用者の乗り継ぎ状況や年齢層、料金体系等を踏まえて、各路線の機能や役割分担を定め、個別路線評価に加え市内公共交通が一体となった、よりよい公共交通ネットワークの形成を目指す評価・検証方法のあり方の検討が必要であります。

次に、4ページをお願いいたします。

3) まちづくりや観光施策等と連携した公共交通ネットワークを構築する必要がありますにつきましては、図13に示しますように、小牧市都市計画マスタープランにおける都市づくりの目標では、鉄道駅周辺等における拠点を中心に多様な機能が確保された集約型市街地の形成を目指していること、図14に示しますように、市民アンケートにおいて「公共交通の充実は、市民にとって重要な施策であるため、今後も重視していくべきである」が最も多くなっていること、図15に示しますように、今後の公共交通に期待する役割については、「名古屋へ行きやすいこと」が最も多く、「小牧市内の医療機関に行けること」「小牧市内の拠点間を結ぶこと」などが挙げられていることから、小牧市が目指す鉄道駅周辺等における拠点を中心とした多様な機能が確保された集約型市街地の形成の実現に向けては、まちづくり計画、観光振興等とも連携し、公共交通を軸とした公共交通ネットワークを構築することが必要であります。また、公共交通ネットワークの構築に当たっては、市民が望む市内医療施設等へのアクセス及び市内拠点間の連携に加え、名古屋への行きやすさに配慮が必要でございます。

以上、議題「(4) 小牧市地域公共交通網形成計画に係る課題整理について(中間報告)について」の説明とさせていただきます。よろしくご審議賜りますようお願いいたします。

【磯部会長】

ありがとうございます。

今後計画をつくるときの柱になりそうな言葉を並べたというふうに私は解釈しておりまして、図面がありますけれども、それは証拠とか理由づけでありまして、網かけした、例えば1ページの上を書いてある1) 多様化するという言葉とか、3ページの2) 公共交通ネットワークとしてのという言葉と、最後の3) まちづくりやという話の、この言葉が一番大事なかなと思いますので、その辺を中心に皆さんからご意見いただきたいなと思います。何かありますでしょうか。要するに、今後計画をつくるときの方向性とか軸になるような文言ですね。ほかにもあるんじゃないかといったらつけ加えていけないといけないし。要するに1) 2) 3) の言葉をもうちょっと強化するんだったらこういう言葉のほうがいいんじゃないかとか、その辺だと思っておりますけれども、いかがでしょうか。

【杉本委員】

愛知運輸支局の杉本であります。

中間報告的な課題整理という面では整理をされているのかなど。あるのはやっぱり総合計画、基本的な計画のところはどういうふうなまちづくりを小牧市が目指しているのかということをもまず主眼に置いて、それに対する目的といいますか、公共交通をどういう目的意識を持ってやっていくのかということをしっかり捉えていただく必要があるのかなと思います。

活性化再生法という法律の改正の中で、タクシーというものが公共交通にしっかり位置づけられています。タクシーは公共交通だという、これは明確に法律で位置づけられたということでもあります。

そういった面では、先ほどのアンケートの中でも、施策の中でタクシーに対する施策をしてほしいというアンケート結果もあったかと思います。面的な部分でやるのであれば、私が入った当時もあれですけども、タクシーは最後の公共交通だと教えられたことがございます。そういった面では、この形成計画の中にはタクシーというものの役割もしっかり計画の中に取り入れていただければなと感じたところでもあります。

先ほどもちょっと言いましたけれども、公共交通ってまちづくりに関してさまざまな施策の中心になってくるんじゃないかなと思います。そういった面では、まちづくりをする上で重要な施策ということでしっかり位置づけられて、それぞれの評価のところか何かは、どんな目的でこのバスが走っているのか、幹線についても循環バスについてもですね。いろんな面で目的と、あくまで手段でありますので目的や役割、便ごとの役割が目的でありますので、そういったものをしっかり明確に据えた上での取り組みを整理していただくとよろしいのかなと思っています。

以上です。

【磯部会長】

ありがとうございます。

ほかいかがでしょうか。まずは皆さんの意見を聞いてから事務局にお話しいただきたいと思えますけど、いかがでしょうか。

それじゃ、私から言います。

今の運輸局さんのに近い話なんだけど、1ページ目の1)のところの最後に、公共交通サービスを提供する必要がありますというんですけども、これは誰が提供するかというのがこの文面だと不明確なので。今の話ですといろんな交通機関が連携して、協力してという話があるのかなど。そうしないと、全部市が提供するというふうに見えてしまうんですね。それはちょっとまずいか趣旨に合わないと思いますので、そういう言葉をどこかに入れてほしいなと思います。

最後の、まちづくりっていきなりぼーんときたんですけども、非常にこれが漠然としているんですね、このまちづくりというのが。内容を読んでいくと、都市計画マスタープランにおけるこのこうのとか書いてありますから、もうちょっと何か明確な文言にしたほうがいいんじゃないかなど。要するに、まちづくりという言葉は本当にいろんなふうに使っていますので、住民がやるまちづくりもございますし、商店街がやるまちづくりもございますから。一体どういう意味なんだと、この辺をちょっとはっきりさせたほうがいいかなど。

それで、今日の初めにもありましたけど、活性化再生法の話と立地適正の話で両方でやっていくという話で、都市再生の話の中にはいわゆる立地適正化という話で小牧市もやっているというので、この計画の関連計画として来ているわけですから。もしもそのことがあるんだしたら、それを明確

にぼんと出したほうが、まちづくりというぼんやりした言葉よりも的確にできるかなど。多分その中に、さっき言った病院の機能とかいろんな生活機能が全部入ってくるわけですからね。そういう話をもっと明確にしたほうがいいかなと思いますので、そうしてほしいなど。

恐らく1) 2) 3) の順番も、ひょっとしたら3) が先に来るのかなど。それで1) が来て2) が来るのかなという気がするんですけどね。この辺、どういうふうに順番ね。みんな対等だって対等かもしれませんけど。

ですから、多分3) が先ということは、上位計画とか関連計画から来て、町をどういうふうにしていくんだという発想なんですよ。それに対して交通サービスのところでどこまでそれを支えることができるかという話があって、最後に交通サービスのあり方はどうであるべきかというので評価といった流れのほうが私は自然かなと思いました。今までの立地適正化の、要するに公共交通の再生活性法の立場と都市再生法の立場から見てやっていくということであれば。なので、その辺ちょっと文言をまた吟味していただければなと思います。

ということで、ほかの委員から何かございましたら。

事務局、何か発言があればお願いします。

【事務局】(河村主幹)

ありがとうございます。委員の皆様方からご意見を頂戴しました件に関しましては、事務局で再度検討いたしまして、次回の会議でまた資料でご提示させていただきたいと思います。

内容につきましては、都市政策課で立地適正化計画の策定と都市計画マスタープランの中間見直しをしておる状況ですが、その中でもありますとおり、小牧市内の南北に関しましては鉄道軸、東西ではバス軸という十字の軸を中心として、その中でタクシーだとか市のコミュニティバスでいかに補っていくかというところで考えておるところでございます。

したがって、当然市のコミュニティバスだけでは市内の公共交通は完成できませんので、その点に関しましては、ここの1) では内容をより詳しく充実していきたいと思います。

また、4ページ目の3) につきましては、会長からお話もありましたとおり、立地適正化に関して、その中でもコンパクトシティの実現に向けて公共交通に関する内容も盛り込んでございます。ここの3) の1行目のところでも少しそこは触れておりますけれども、ここにつきましてももう少し内容を充実していきたいと思います。

また、1) 2) 3) の順番につきましても、再度検討させていただきたいと思います。

以上でございます。

【磯部会長】

ありがとうございます。

ほかに皆さんから何かありますでしょうか、このまとめ方につきまして。

【河村委員】

中間ということですが、またさらに結論までの間に中間というのは出てくるんですね。何となくこれを読んでいると、申しわけないですけど、まだ中間じゃない。頭の部分を言っただけで、さらにこれで詰めて中間であって、それで結論ありきかなという。非常に曖昧な部分がやっぱり多いものですから、方向性はこれがスタートかなという感じがしないでもないんですけども。

【磯部会長】

これも私もそんなに、議決が必要かなと思ったけど、こうやって市のほうが、事務局が進めているという状況の報告かなと思うんですけどね。

【河村委員】

だから、議論するんじゃないくて、その前の段階がこれかなという感じはしないでもないですけど。

【磯部会長】

ということで、これも報告という扱いでよろしいですかね、議決しなくても。こうやって今進めていますというので。

【事務局】（河村主幹）

前回のこの会議でもご説明させていただきましたが、今年度のスケジュールに関しましては、基本方針（案）を今年度末までにつくっていききたいという計画のもとに、今回このような議題または報告の内容の会議にさせていただいたところでございます。

そういう意味で申しますと、会長がおっしゃられましたとおり、現在事務局ではこういうふうに進めていますということの内容でございます。

以上でございます。

【磯部会長】

そういうことでありますから、そういうことの内容を聞いたということで処理させていただきたいと思います。ありがとうございます。

続きまして、議題「(5) 田県神社前駅西駅前広場整備に伴うこまき巡回バスのルート変更について」ということでございます。これはルート変更ですので承認が要ると思います。これにつきまして事務局から説明をお願いいたします。

【事務局】（松浦係長）

それでは、議題「(5) 田県神社前駅西駅前広場整備に伴うこまき巡回バスのルート変更について」、ご説明させていただきます。

お手元の資料6をご覧くださいと思います。田県神社前駅西駅前広場整備に伴うこまき巡回バスのルート変更についてでございます。

まず、ルート変更の目的でございますが、平成29年3月に、田県神社前駅西駅前広場が供用開始されることに伴い、田県神社前駅付近を運行している55田県・岩崎原コースのルートを田県神社前駅西駅前広場のロータリー内まで延長し、あわせてバス停を移設するものでございます。

ルート変更の概要でございますが、変更するコースは55田県・岩崎原コースでございます。路線長は、このルート変更に伴い12.1kmから12.6kmと、0.5km延長するものでございます。また、停留所につきましては、田県神社前駅バス停を移設するものでございます。

詳細につきましては、下の図をご覧くださいと思います。図1：「田県神社前駅西」バス停

前後のルートでございます。

現在は、青線のルートのとおり久保一色交差点を左折して田県神社前駅西バス停を經由しておりますが、今回のルート変更に伴いまして、久保一色交差点を一旦直進してロータリーに進入し、また久保一色交差点まで戻り、右折して北進するルートとなります。

続きまして、裏面をご覧ください。図2：「田県神社前駅」バス停前後のルートでございます。

現在は、青線のとおり市道布袋内津線を真っすぐ西進して田県神社前駅バス停を經由しておりますが、今回のルート変更に伴い、一旦右折によりロータリーに進入するルートとなります。なお、このルート変更に伴い、現在市道布袋内津線上に設置しております田県神社前駅バス停をロータリー内に移設いたします。

次に、ルート変更及び停留所の移設に係る事前調整の状況でございます。

平成28年9月及び10月に、小牧警察署及び小牧市道路課に対し変更案についての説明と意見聴取を行ったところでございます。

最後に、今後のスケジュールでございます。

今回ご説明させていただきましたルート変更案につきましてご承認いただけましたら、12月に当該変更に必要な経費について補正予算案を計上する予定でございます。その後、1月に再度地域公共交通会議を開催させていただき、運行ダイヤの改正についてご承認いただけましたら、法手続や周知PRを行いまして、平成29年4月1日より変更後のルートでの運行開始を予定しております。

以上、議題「(5) 田県神社前駅西駅前広場整備に伴うこまき巡回バスのルート変更について」の説明とさせていただきます。よろしくご審議賜りますようお願いいたします。

【磯部会長】

ありがとうございます。

この駅に近接するところなるべくバス停は置きたいということで前からいろんなところでやってきたわけですが、いよいよそれができそうということで、それにあわせてバス停を駅直近まで設置するというところでございますが、何かご意見ございませんでしょうか。

これだと警察さんと道路管理者との関係でね、きちんと承認がおりていればよろしいんですけど、それは大丈夫でしょうか。一応9月、10月でオーケーという形でよろしいのでしょうか。その辺確認したいんですけど。

【事務局】(松浦係長)

小牧警察署と道路課には承認をいただいているところでございます。

【磯部会長】

では、今回はこのルートの話をごこの会議で議決して、それに基づいてまた運行ダイヤの改正が次の1月に予定しているという話であります。まずルートだけですけども、何かご意見とかございましたらいただきたいんですけど、よろしいでしょうか。

ルートの変更だけですけども、これを原案どおり承認することでよろしいでしょうか。

【全委員】

異議なし

【磯部会長】

ありがとうございます。異議なしということで、承認させていただきます。

本日の議題は以上でございます。慎重にご審議いただきまして、ありがとうございます。

続きまして、報告に入ります。

報告「(1) 市道野口林池之内線の道路工事に伴うこまき巡回バスの迂回運行について」であります。

市道の道路工事に伴い、こまき巡回バスの一部コースにおいて、長期間にわたる迂回運行とバス停の休止及び移設を行っているとのこととあります。まずは、この件につきまして事務局から説明をお願いいたします。

【事務局】(松浦係長)

それでは、報告「(1) 市道野口林池之内線の道路工事に伴うこまき巡回バスの迂回運行について」、ご説明申し上げます。

お手元の資料7をご覧くださいと思います。市道野口林池之内線の道路工事に伴うこまき巡回バスの迂回運行についてでございます。

市道野口林池之内線の道路工事に伴い、平成28年10月1日から平成29年3月31日までの予定で、こまき巡回バス58小牧ヶ丘・野口南コースの迂回運行を行っております。この図面上では赤の線が通常のルートとなっておりますが、赤の太枠で書いた部分が現在工事を実施しているところでございます。図上、青色で書いてある線が迂回のルートとなっております。この迂回運行に伴いまして、野口友ヶ根バス停を休止し、また野口柿花の小牧ヶ丘方面バス停を野口会館東側に移設しております。

本迂回運行の周知につきましては、本年9月に地元である野口区に回覧を行いましたほか、58小牧ヶ丘・野口南コースの各バス停及びバス車内において迂回運行の案内をしております。

以上、報告「(1) 市道野口林池之内線の道路工事に伴うこまき巡回バスの迂回運行について」の説明とさせていただきます。よろしく申し上げます。

【磯部会長】

ありがとうございます。

資料7で、赤線が定められたルートですが、その部分が工事で通れないので少し大きく迂回をするということとあります。期間として、もう既に始まっているんですけども、今年の10月1日から来年3月末を予定しているということとございます。

これはやむを得ない理由という形でこういう形になっているということとありますので、正式なルート変更の議事というよりも報告という形でございますけれども、何か皆さんのほうでご意見ございますでしょうか。

よろしいですか。じゃ、それも聞き及んだということとございます。

次第「4. その他」でございますけれども、まず事務局から何かございますでしょうか。

【事務局】（松浦係長）

それでは、次第「4. その他」としまして、事務局より連絡をさせていただきます。

次回の会議につきましては、1月11日水曜日午後2時からでございます。小牧市役所東庁舎5階の大会議室にて開催を予定しております。

内容につきましては、今回ご審議いただきました地域懇談会の開催結果、地域公共交通の課題整理及び基本方針案に係る意見聴取、地域公共交通確保維持改善事業に係る自己評価を予定しております。

なお、詳細につきましては後日改めて通知させていただきますので、ご予定のほどよろしく願いいたします。

【磯部会長】

ありがとうございます。

事務局から説明がございましたように、来年1月11日水曜日の午後2時から次の会議があるということでございます。よろしく願いいたします。

ほかに、皆様から何か意見ありますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、これをもちまして平成28年度第3回小牧市地域公共交通会議を閉会させていただきます。

皆様、どうもありがとうございました。